



(高知県)中央地域バス路線再編事業費補助金



現状と課題

平成23年度予算額: 12,000千円 公共交通課

<利用者ニーズへの対応>

県中央地域のバス路線は、複数のバス会社による一部の区間での競合や、運行エリアのすみ分けなどにより、利用者のニーズに十分合った路線網が実現していない。県民へのアンケート調査などでも、「バスは行き先がわからない」などの声が依然としてあり、分かりやすく、利用しやすいわかりやすいバス路線の実現が求められている。

<行政負担の増大>

バス路線を維持するための国、県、市町村による補助金も増加の一途であり、厳しい財政状況にある地方自治体の負担は限界に達していることから、負担軽減に向けた路線再編などが必至の状況である。

<高知県内のバス等の運行に要している行政の負担額>

(千円)

	H17	H18	H19	H20	H21
国	122,209	105,924	103,478	115,096	113,244
県	122,209	105,924	103,478	115,096	113,244
市町村	710,000	690,440	740,266	794,185	841,501
合計	954,418	902,288	947,222	1,024,377	1,067,989

このうち、民間バス会社への補助額の約1/2は、中央地域4市町(高知市、南国市、土佐市、いの町)に集中

事業内容

<目的> 高知県交通グループと土佐電鉄グループで運行されている高知市近郊のバス路線を再編し、将来に亘って維持できる効率的でわかりやすいバス路線網の構築を実現するために、「中央地域バス路線再編協議会」を設置し、協議会において、現状の分析結果などを活用した理想的なバス路線再編(案)を検討する。

<協議会の業務概要>

1. 既存データの再整理
2. 路線再編(案)の作成において不足するデータの収集(アンケート調査など)
 - ・交通空白地などの潜在的ニーズの把握など
3. 路線再編(案)の作成
 - 案1 コスト削減重視型

現在の各路線の便数など、利用者のサービス水準は現状維持し、重複(競合)を解消することで実現できるコスト削減案
 - 案2 サービス向上重視型(コスト現状維持)

現在の原資(車両数、従業員数、車両基地など)は、現状維持とし、重複(競合)の解消により生まれる原資を、新規路線の運行などに向けたサービス向上案
 - 案3 サービス向上徹底型

利用者から見た理想的なサービス水準の実現
現在の原資(車両数、従業員数、車両基地など)にとらわれない徹底したサービスの向上案(新たな結節点や、大幅な増便などの提案)
4. わかりやすいバス路線図(地図上に落とししたもの)の作成
5. 実証運行(案)の提案

※高知工科大学と連携した交通計画策定シミュレーションも実施予定

※ 国・県は国庫補助路線への負担額
市町村は、国庫補助路線及びコミュニティバス等への負担額の合計

ねらい

<利用者の拡大>

これまで利用しにくいという理由でバスの利用を敬遠してきた住民のあらたな需要を喚起して公共交通の利用促進に繋げたい。

<コスト削減>

わかりやすいシンプルなバス路線の実現は、運行するバス会社にとっても効率的な運行が可能になり、運行経費の削減にもつながる。

中央地域バス路線再編協議会(仮称)

<構成メンバー及び役割>

- 県 : 事務局(業務全体の調整)
- 市町村 : 路線(案)作成のサポート
アンケート調査結果や地区別人口等のデータ提供
- バス事業者 : 路線(案)作成のサポート
- 公共交通経営対策検討委員会(バス部会)
: 利用者視点でのアドバイスなど

<受託業者の業務>

データ分析、補足調査、路線再編(案)作成、協議会運営補助